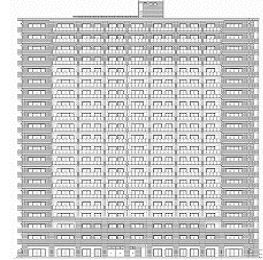


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東区香椎浜3丁目 D棟	階数	地上21F
建設地	福岡市東区香椎浜3丁目7番80	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	1,145 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2016年8月31日
敷地面積	8,162 m <sup>2</sup>	作成者	(03896-21)今西良一
建築面積	1,655 m <sup>2</sup>	確認日	2016年9月5日
延床面積	24,615 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アーキスタイル 一色美昭



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。遮音性能の優れた建材を使用し、住戸のプライバシーに配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲に植栽を施し、敷地内のヒートアイランド現象の緩和を図っている。
LR1 エネルギー	設備システムの高効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> を削減し、地球温暖化防止を図っている。敷地内の風通しや敷地内緑化により、敷地外のヒートアイランド現象緩和に努めている。
Q2 サービス性能	重要機器の浸水対策など安全性確保を図っている。節水器具を採用し、水資源の保護に努めている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具や省水型機器の利用により、節水を図っている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される